

琉球大学学術リポジトリ

初校『南洋群島の研究』参考書

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2018-04-16 キーワード (Ja): 矢内原忠雄 キーワード (En): Yanaihara Tadao 作成者: 矢内原, 忠雄 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/38067

矢内原忠雄文庫

史料名	初校『南洋群島の研究』参考書
封筒番号	270
原文所蔵者	琉球大学附属図書館
撮影年月日	平成 17 年 11 月 15 日
撮影者	富士写真フイルム 株式会社
備考	

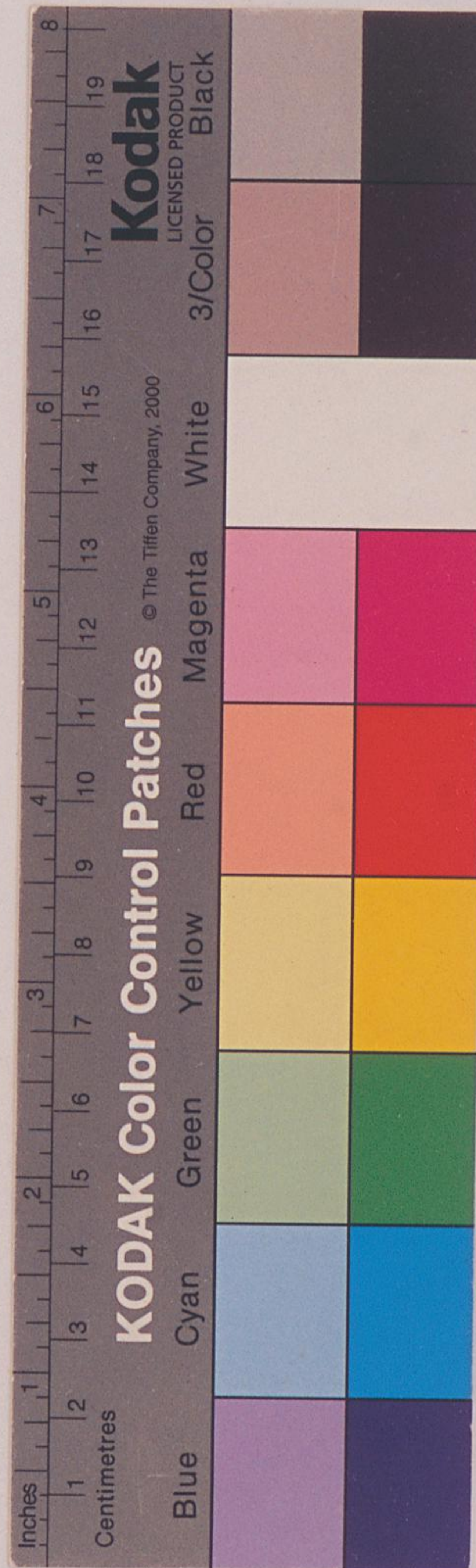
矢内原忠雄文庫

封筒番号：270

史料名	初校『南洋群島の研究』参考書
資料形態	B4酸性紙
枚数	3
页数	4
縦 (cm)	
横 (cm)	
厚さ (cm)	
書誌的事項	南洋 劣化著しい。 今泉分類記号：P

菊
洋

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 8 1/10



Krämer, A. Truk. 1932. ⁿ

Kubary, J. S. Ethnographische Beiträge zur Kenntniss des Karolinen-Archipels. 1895.

League of Nations. Permanent Mandates Commission. Minutes of Sessions.

Matsumura, A. Contributions to the Ethnography of Micronesia. 1918.

Meyer, H. Das Deutsche Kolonialreich. 1914.

Müller, W. Yap. 1917. ^r

O'Connell, J. F. Elf Jahre in Australien und auf der Insel Ponape. (Deutsche Uebersetzung von
 Paal Hambruch, 1927.) ^u

Sarfert, E. Kusae. 1919. ^u

Schnee, H. Deutsches Kolonial-Lexikon. 1920. ⁿ

Sievers, W. Die Schutzgebiete in der Südsee. (in Hans Meyer, Das Deutsche Kolonialreich. Bd. II.
 1914.) ^u

Yamazaki, N. Micronesia and Micronesians. 1927. ^u

南洋 参考書目 初校

西島南次



参考書

1. 本書執筆に直接参考した文献の主要なるものにして且つ印刷公刊せられしもののみを掲げる。
2. 左記文献を本書中に引用する場合には著者名及び書名を略記することがある。
3. 左記以外の引用書目は本文中(随時に記載する)。

A B C 順

安藤喜一郎 南洋風土記 昭和八年

外務省 日本帝國委任統治地域行政年報 年刊
獨領南洋群島事情 大正四年(大野守衛氏の調査報告)

長谷部言人・八幡一郎 過去の我南洋 昭和七年

井上彦三郎・鈴木經勳 南島巡航記 明治二十六年(昭和八年拓務省にて複製發行。田口卯吉氏一行の巡航記である)。

磯田勳 マーシャル群島民の文化史上の位置 『マーシャル新報』三百號記念號、昭和四年三月)

雄

マーシャル群島の文化誌 『マーシャル新報』特別附録、昭和三年九月)

参考書

國際聯盟協會 南洋委任統治問題 昭和八年

松江春次 南洋開拓拾年誌 昭和七年

松岡靜藏 ミクロネシア民族誌 昭和二年

南洋 南洋群島要覽 年刊

南洋廳施政十年史 昭和七年

南洋群島島勢調査書 大正九年、大正十四年、昭和五年

委任統治地域南洋群島調査資料 昭和二年(本書は外務省發行の『南洋新占領地視察報告』(大正五年)及び同『追録』(大正六年)を複製刊行したものである)。

南洋興發株式會社 裏南洋開拓と南洋興發株式會社の現況 昭和八年

南洋傳道團 南洋傳道團事業報告書

南洋協會 南洋の風土 大正五年

蜷川新 此の日本國をどうする 昭和九年

田中雪次 マーシャル群島の酋長と庶民 『マーシャル新報』三百號記念號(昭和四年三月)

戸塚皎二 南洋土人社會の原始(共産的實相)『改造』(昭和八年十月號)

要再校

附 11 2 通

急

アイバドルとアルクライ(島) 昭和九年前期
内田寛一 我が南洋諸島における氣候と著衣問題との關係を論ず(『小川博士還曆記』史學地理學論叢 昭和五年)

山口祥吉 未開人の徳性 昭和二年

山崎直方 我が南洋 大正五年

山本美越乃 我國民の海外發展と南洋古領地 大正六年

矢内原忠雄 未開土人の人口衰退傾向に就て(『國家學會雜誌』昭和八年五月、六月)

南洋委任統治論 (『中央公論』昭和八年六月)

南洋群島の經濟 (『經濟』昭和九年七月)

南洋群島々民の教育に就て (『實論講演集』昭和十年五月)

横田武 我が南洋の正體 昭和八年

Bollig, P. L. Die Bewohner der Truk-Inseln. 1927.

Christian, F. W. The Caroline Islands. 1899.

參考書

Clyde, P. H. Japan's Pacific Mandate. 1935.

Erland, P. A. Die Marshall-Inulaner. 1914.

Finisch, O. Ethnologische Erfahrungen und Belegstücke aus der Südsee. 1893.

Handwritten: 南洋群島 1914. Gewerbe und Kunstfleiss, Tarechnittel und "Geld" der Eingeborenen. 1914.

Hambruch, P. Ponape. 1932.

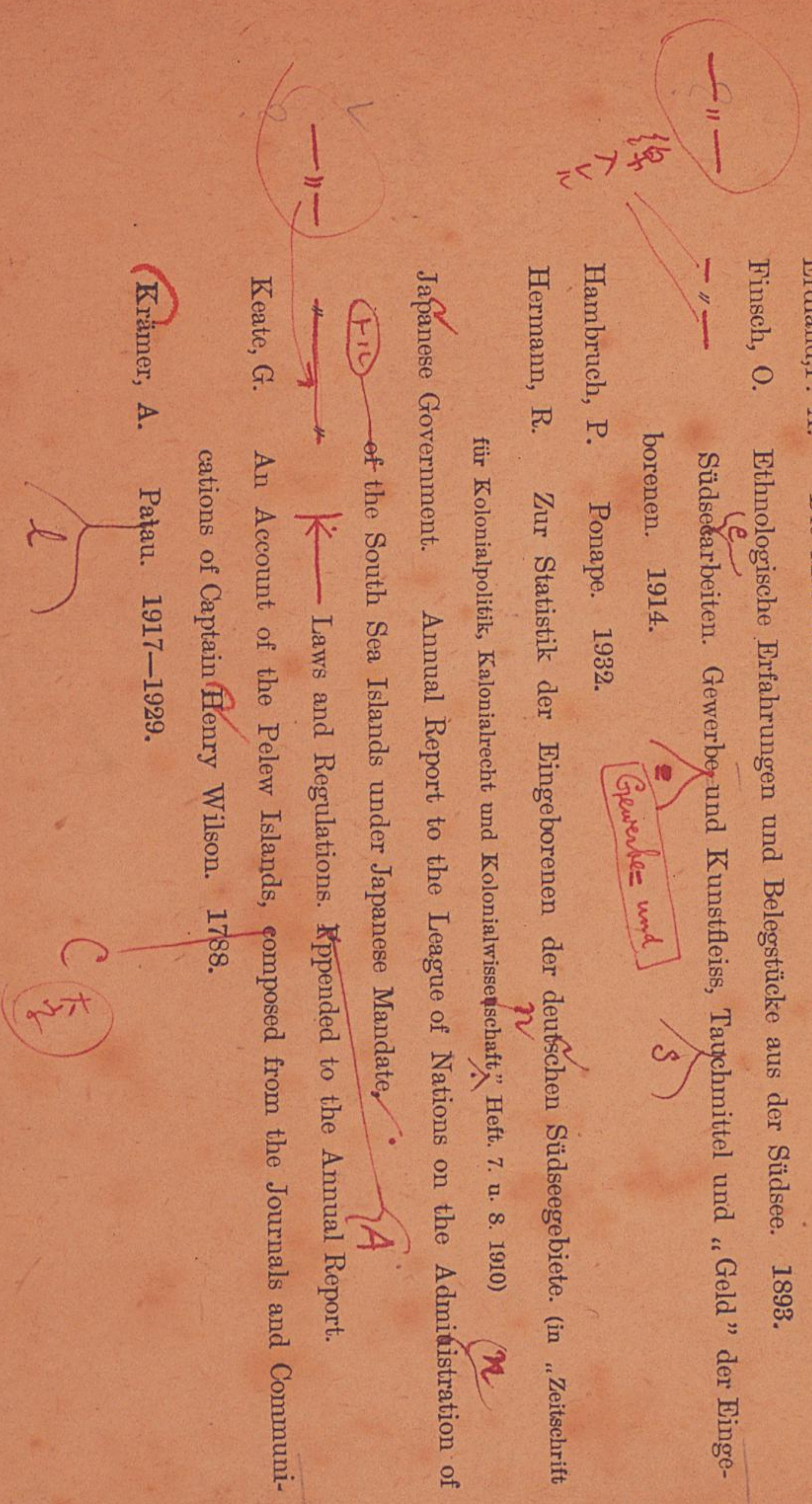
Hermann, R. Zur Statistik der Eingeborenen der deutschen Südseegebiete. (in "Zeitschrift für Kolonialpolitik, Kolonialrecht und Kolonialwissenschaft," Heft. 7 u. 8. 1910)

Japanese Government. Annual Report to the League of Nations on the Administration of the South Sea Islands under Japanese Mandate.

Keate, G. Laws and Regulations. Appended to the Annual Report.

Keate, G. An Account of the Pelew Islands, composed from the Journals and Communications of Captain Henry Wilson. 1788.

Krämer, A. Papeu. 1917-1929.



E N D

REEL No. B-007

琉球大学